

# 「あわぎん地域密着型金融推進計画」 平成27年度の取組み状況について

平成28年7月



- ◆ **地域密着型金融の推進態勢** .....P1
  
- ◆ **地域密着型金融推進計画の概要** .....P2
  - ・あわぎん地域密着型金融推進計画(平成25年4月～平成28年3月)
  - ・あわぎん地域密着型金融推進計画(平成28年4月～平成31年3月)
  
- ◆ **平成27年度の取組み実績のご報告** .....P3～P8
  - ・中小企業向け融資を積極的に推進しています。
  - ・経営改善・事業再生支援を積極的に推進しています。
  - ・ABLの取組みを強化しています。
  - ・国際ビジネスのサポートを強化しています。
  - ・「あわぎん地方創生ファンド」を設立しました。
  - ・産学官の連携を強化し、企業ニーズにお応えします。
  - ・地域経済循環創造への支援を行っています。
  - ・お客さまの販路拡大をお手伝いします。
  - ・店舗設備等のバリアフリー化を推進しています。
  - ・地域の活性化に取り組んでいます。
  - ・地元徳島の学術や文化振興に貢献します。
  - ・青少年の金融教育に取り組んでいます。

当行では平成28年4月よりスタートした新経営計画「Sparkle 125<sup>th</sup>」におきまして、テーマを「地域密着一等星銀行へ」として、世代を超えた息の長い取引を継続し、永続的な発展に寄与していくという当行の伝統的営業方針「永代取引」を進化(SINKA)させ、「永代取引」の真価(SINKA)を発揮することで、地域やお客さまの良きパートナーとなれるよう邁進してまいります。

地域密着型金融の推進にあたっては、  
①事業性評価と「真の経営課題」の把握による付加価値営業を実践し  
②地方創生に積極的に取組み、地域の持続的成長に貢献することで  
地域経済の活性化に貢献し、活力ある暮らしやすい地域づくりを推進してまいります。

### ◆企業のライフステージに応じた経営支援

- 創業支援**
  - ・ 創業向け戦略商品の活用
  - ・ ABLの活用推進
  - ・ 事業性評価の精度向上
- 成長支援**
  - ・ 海外与信取引・海外展開支援の強化
  - ・ 事業承継、M&Aの取組強化
  - ・ 阿波銀コンサルティングとの連携強化
- 再生支援**
  - ・ 外部専門家の活用
  - ・ 各種ローン、地方創生ファンドの活用
  - ・ クラウドファンディングの活用

- ### ◆コンサルティング機能の発揮による経営課題の解決
- ・ 行政・大学・研究機関・外部提携先との連携強化

### ◆地域経済の好循環拡大

- ・ 県内外取引先企業のマッチング強化
- ・ アグリファンド活用による6次産業化推進
- ・ 観光客増加に向けたサポート（せとうち観光活性化ファンド等）
- ・ 企業誘致、海外展開支援、インバウンド支援



### ◆活力ある暮らしやすい地域づくり

## あわぎん地域密着型金融推進計画(平成25年4月～平成28年3月)

当行の伝統的営業方針である「永代取引」を実践することが、地域密着型金融と同義と位置付け、その実践により高い付加価値を提供し、地域やお客さまの持続的な発展に貢献してまいります。

### 金融円滑化への対応強化

- 経営改善支援、改善計画策定支援の取組強化
- 再生支援協議会・外部専門機関との連携強化
- 資本金借入金・AWA企業再生ファンドの活用推進
- 事業承継支援、M&Aの推進強化
- 企業格付ランクアップの推進強化

### 地域経済活力創造への貢献

- 創業・新規事業支援の強化
- 成長分野への取組強化、6次産業化支援強化
- 各種団体等との連携、企業誘致活動の推進支援強化
- アジア、国際ビジネスの強化推進
- 阿波銀行学術・文化振興財団を通じた助成活動継続

## あわぎん地域密着型金融推進計画(平成28年4月～平成31年3月)

### 目利き力向上への取組み強化

- 事業性評価への取組み強化  
財務分析に加えて、お客さまのビジネスモデルや将来性等についてお客さまとの対話を通じて適切な理解に努め、各種融資商品等を活用して事業性評価に基づく融資推進に積極的に取組んでいきます。
- コンサルティング機能の発揮  
事業性評価を通して共有した経営課題に基づき、課題解決に向けたサポートに取組んでいきます。

### 地方創生への積極的な取組み

- 国の総合戦略や地方版総合戦略推進への参画  
産官学労言の連携の下、総合戦略等の推進に積極的に取組みます。
- 地域における金融機能の高度化に向けた取組み  
さまざまなライフステージにある企業の経営課題の解決に向けた取組みを支援します。
- 地域経済の好循環拡大に向けた取組み  
新たな付加価値の創造により、地域経済の成長を支援します。

## ◆ 中小企業向け融資を積極的に推進しています。

地域経済のさらなる活性化に向けて、中小企業向け融資を積極的に推進しています。

当行は中小企業取引をコアビジネスと位置付けており、中小企業等貸出金比率は84.14%(平成28年3月末現在)と、引き続き高い水準を維持しています。

これからも、当行の伝統的営業方針である「永代取引」を追求し、お客さまのライフステージに応じて、オーダーメイドによる質の高い金融サービスの提供に努めてまいります。

### トピックス

平成27年9月、事業性評価に基づき、不動産担保等に過度に依存しないご融資への取組みを一層推進することを目的に「あわぎん事業応援ローン」の取扱いを開始しました。

## ◆ 経営改善・事業再生支援を積極的に推進しています。

審査部経営支援課に専門スタッフを配置し、お客さまの経営改善、事業再生に向けて積極的に取り組んでいます。

「AWA企業再生ファンド」を活用し、個々のお客さまの状況に応じて、過剰債務の処理や不採算事業のリストラ、M&Aなどによるサポートを行っています。

当行グループ会社「阿波銀コンサルティング株式会社」の専門スタッフが、創業から経営改善・事業再生まで、企業のさまざまなステージにおけるコンサルティングを行っています。

また、「経営革新等支援機関」として外部の専門機関とも連携し、多様な事業再生スキームを活用することで、抜本的な事業再生や経営改善に積極的に取り組んでいます。

### 平成27年度取組み実績

◇あわぎん成長基盤強化ファンド	162件／195億円
◇あわぎん中小企業応援ファンド	1,014件／544億円
◇中小企業等貸出金比率	84.14%
	(平成28年3月末現在)

### 平成27年度取組み実績

◇経営改善支援取組み率	5.7%
	(経営改善支援取組み先数223／期初債務者数3,919)
◇再生計画策定率	87.0%
	(再生計画策定先数194／経営改善支援取組み先数223)
◇ランクアップ率	3.1%
	(ランクアップ先数7／経営改善支援取組み先数223)
※上記指標はいずれも正常先を除いています。	
◇徳島県中小企業再生支援協議会との連携による件数	6件
	完了件数 4件

## ◆ ABLの取組みを強化しています。

地域密着型金融推進の観点から不動産担保や個人保証に過度に依存しない金融の円滑化を図る一環として、ABL(動産・売掛債権担保融資)の取組みを強化しています。

ABLとは、企業の事業そのものに着目し、商品や売掛金など流動性が高い資産を担保として活用する、事業サイクルに応じた資金供給であり、金融円滑化の観点からも注目されています。

当行では、ABLを通じて、お客さまとともに、適正な在庫や売掛債権の管理、販売先の拡大支援等につながるよう積極的に取り組んでまいります。

## ◆ 国際ビジネスのサポートを強化しています。

経済のグローバル化が進展するなか、お客さまの多様なご要望にお応えするため、営業推進部営業支援課の専門スタッフが徳島県内はもとより、関東・関西地区にも駐在し、国際ビジネスに関するお問い合わせやご相談にスピーディーに対応しています。

### トピックス

平成28年1月、お客さまが保有するタイ現地法人での設備投資計画に対し、当行と国際協力銀行(JBIC)協調による米ドル建直接融資を提案、契約し海外法人での資金調達をサポートしました。

### 平成27年度取組み実績

◇ABL取組実績 244件／143億80百万円

### 平成28年3月末現在(累計)

◇動産・売掛債権担保取得先 605件

うち、動産担保取扱件数 21件

(注)動産担保件数は太陽光設備関連を除いております。

### 平成27年度取組み実績

◇ソリューションによる外為新規取引先数 55先

◇国際ビジネスに関する外部提携先利用件数 67件

### お客さま向けセミナーの開催

平成27年11月、海外進出成功のポイントや、最新の海外経済・投資情勢等についての「あわぎん国際ビジネスセミナー」を開催しました。

### ※国際ビジネス提携先

バンコック銀行(タイ)、カシコン銀行(タイ)、バンクネガライインドネシア(インドネシア)、インドステイト銀行(インド)、BDOユニバンク(フィリピン)、ベトコム銀行(ベトナム)、日本政策金融公庫、JETRO、海外コンサルタント、損害保険会社、リース会社 他

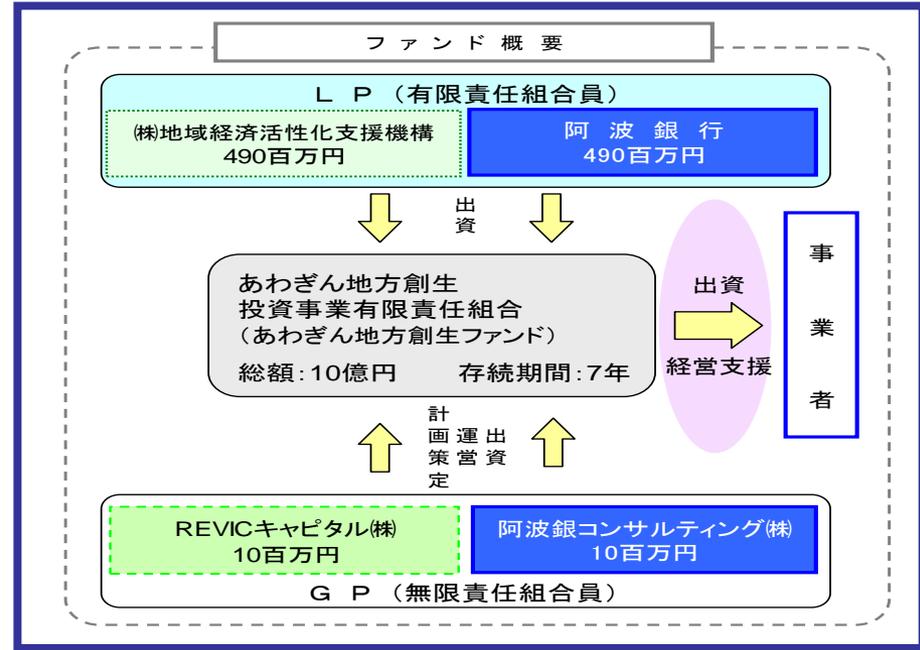
## ◆ 「あわぎん地方創生ファンド」を設立しました。

平成27年10月、当行では、創業120周年記念活動の一環として、地域に根ざして事業を営む起業家等を発掘し、創業・成長支援等を行っていくため、「あわぎん地方創生投資事業有限責任組合（愛称：あわぎん地方創生ファンド）」を設立しました。

創業・成長等をめざす企業に対し、株式会社地域経済活性化支援機構（REVIC）等との共同出資による資金供給等を行うことで、地域経済の活性化を図ってまいります。

### トピックス

平成28年2月には、「あわぎん地方創生ファンド」の第1号案件となる、株式会社レーザーシステム様（レーザー加工用「光学エンジン」開発・製造等）へ出資いたしました。



## ◆ 産学官の連携を強化し、企業ニーズにお応えします。

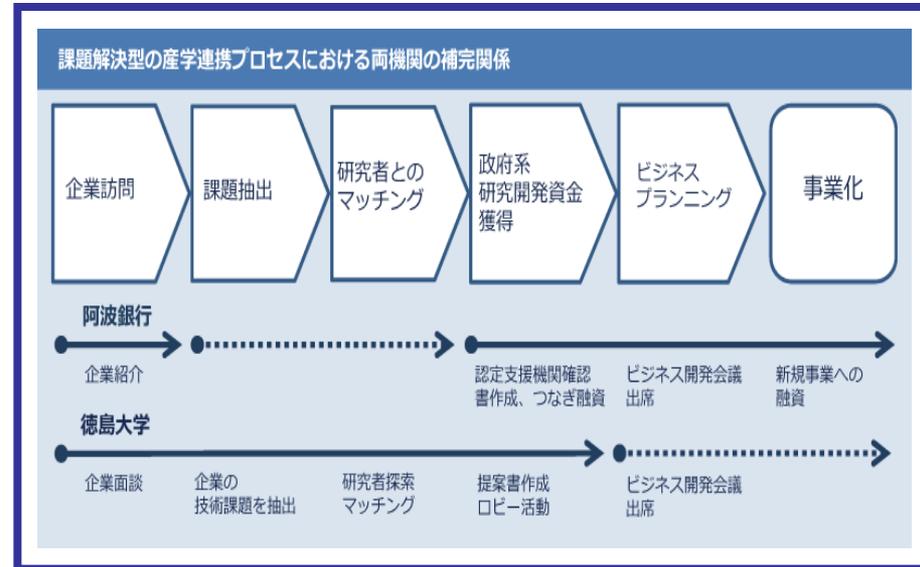
徳島大学との連携協定（平成25年2月）に基づき、研究開発ニーズ、技術的解決ニーズのあるお取引先企業に対し、徳島大学が持つ研究技術・ノウハウをご紹介します。

公的補助金の獲得支援等を通じてお客さまの新たな事業展開を支援しています。

当行では、幅広い業務提携先とのネットワークの活用により、地域経済の発展と産業の振興を図ってまいります。

### トピックス

当行と徳島大学の取組みをモデルに、平成28年度の特許庁の事業として、異分野連携を進めて新事業の創出を目指す「事業プロデューサー派遣推進事業」が創設されました。



# 平成27年度の取組み実績のご報告

## ◆ 地域経済循環創造への支援を行っています。

平成25年3月から開始された「地域経済循環創造事業交付金」制度において、当行では、徳島県等の自治体と連携し、当交付金の積極的な活用を進めています。

地域経済循環創造事業交付金は、地域の資源と資金を活用して事業を起こし、雇用を生み出すモデルを構築する自治体・企業を支援し、「地域経済イノベーションサイクル」の全国展開を推進するものです。

当行では、営業店・営業推進部・審査部が連携し、交付金申請に際しての事業計画策定ならびに申請手続き支援および経営者保証ガイドラインに沿った積極的な融資を行っています。

過去6回の当交付金において当行の支援した案件は10件採択され、補助金額358百万円、融資額510百万円となりました。

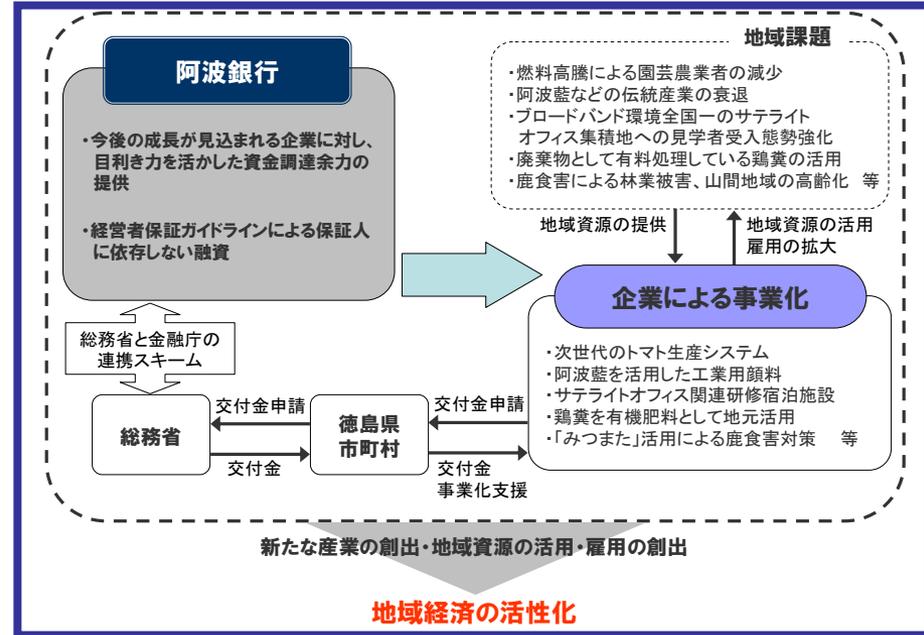
## ◆ お客様の販路拡大をお手伝いします。

当行では、お客様の販路拡大、新商品・新技術の開発を積極的に支援するため、地方自治体および外部機関等と連携し、各種商談会やビジネスマッチングを開催しています。

また、医療・介護、国際ビジネス等、テーマごとのセミナーおよび勉強会を随時実施しています。

### トピックス

平成27年7月、四国4県の地方銀行による「台湾インバウンド商談会」を開催しました。四国4行が、四国の観光施設を運営する企業の皆さまの橋渡し役となり、宿泊施設と観光施設が一体となって魅力ある四国の観光資源を台湾の旅行会社にPRしました。日本側から46社が参加し、台湾側からは51社が参加しました。



## ◆ 店舗設備等のバリアフリー化を推進しています。

すべてのお客さまに安心して当行をご利用いただけるよう、店舗設備等のバリアフリー化を推進しています。

視覚障がいのあるお客さまがご利用可能な音声案内ATMを全店舗に設置するとともに、コミュニケーションボードや杖ホルダー、身体障がい者補助犬の受入れなどを全店舗で実施しています。

当行職員を対象にユニバーサルサービス研修会を定期的に行い、認知症サポーターやサービスケアアテンダントを養成しています。

※サービスケアアテンダント(321名) 認知症サポーター(800名) (平成28年3月現在)

### トピックス

当行福島支店が、平成27年度「とくしまユニバーサルデザインによるまちづくり賞(街づくり部門)」を受賞しました。



## ◆ 地域の活性化に取り組んでいます。

地元徳島県の豊かな農山漁村地域を次世代に引き継いでいこうとの思いから、徳島県と協働パートナー協定を締結し、農山漁村地域における多様なボランティア活動に参加しています。

また、当行役職員による森林保護を目的とした「あわぎんの森」森づくりボランティア活動のほか、アドプトプログラム吉野川をはじめとした県内河川の清掃活動にも積極的に取り組んでいます。

### ◇ 各種ボランティア参加者

- ・あわぎんの森 平成27年度参加者 53名 (累計819名)
- ・アドプトプログラム平成27年度参加者 783名 (累計13,549名)

### トピックス

平成23年8月の協働パートナー協定締結以来、4年間で11団体の活動に延べ101名のボランティアが参加し、徳島県より感謝状をいただきました。



## ◆ 地元徳島の学術や文化振興に貢献します。

徳島県内における優れた学術・文化の振興と発展に貢献することを目的に設立した(公財)阿波銀行学術・文化振興財団を通して、企業や学校等における先進技術の研究開発や、地域文化の発展に結びつく活動に対して助成を行っています。

平成27年度までの累計の実績は、学術部門166件9,340万円、文化部門355件6,442万円、合計521件1億5,782万円となっています。

今後も継続して地元徳島の産業・学術・文化の発展、振興に貢献できるよう努めてまいります。

### トピックス

平成27年10月、創業120周年記念活動の一環として、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を応援するため、私募債発行手数料の一部を学校等に寄付する「こども応援債」の取扱いを開始しました。平成27年度取扱実績は60件、44億円、寄付実績は7件となっています。(寄付は3ヶ月分を取りまとめて実施)

## ◆ 青少年の金融教育に取り組んでいます。

金融について楽しく学び、正しい金銭感覚を身につけてほしいとの思いから、小学生を対象に「あわぎん子ども金融教室」や「夏休み親子ふれあい金融機関見学会」を継続的に実施しています。

また、高校生を対象とした金融経済に関するクイズ大会「エコノクス甲子園」徳島大会の開催や、各種教育機関への講師派遣等を通じて、お金の大切さや金融経済を学ぶきっかけづくりを行っています。

※平成28年度も継続して実施してまいります。金融教育をご希望の場合は、阿波銀行経営統括部経営品質推進課までご連絡ください。



これからも、  
「地域密着一等星銀行」を目指し  
地域やお客さまの良きパートナーとなれるよう  
全力で取組んでまいります。

引き続き、ご愛顧を賜りますよう  
心よりお願い申し上げます。

